

瀬田川プランクトン調査結果速報

滋賀県立衛生環境センター
琵琶湖水質担当
平成10年5月15日 第13報

植物プランクトン

(綱) 種 名	細胞数 (群体数)	優占種(占有率)	
		数	体積
(黄鞭) <i>Uroglena americana</i>	400		
(黄鞭) <i>Chromulina</i> sp.	5		
(黄鞭) <i>Mallomonas</i> sp.	5		
(珪) <i>Melosira granulata</i>	8		
(珪) <i>Cyclotella</i> sp.	5		
(珪) <i>Stephanodiscus</i> sp.	5		
(珪) <i>Fragilaria crotonensis</i>	240		
(珪) <i>Asterionella formosa</i>	560	○	
(珪) <i>Nitzschia</i> sp.	5		
(渦) <i>Peridinium penardiforme</i>	10		
(褐) <i>Cryptomonas</i> sp.	120		
(褐) <i>Rhodomonas</i> sp.	720	◎	
(緑) <i>Closterium aciculare</i> var. <i>subpronum</i>	59		○
(緑) <i>Staurastrum dorsidentiferum</i> var. <i>ornatum</i>	18		◎
(藍) 藍藻綱	0	0.0	0.0
(黄) 黄緑藻綱	0	0.0	0.0
(黄鞭) 黄色鞭毛藻綱	410	19.0	5.9
(珪) 珪藻綱	823	38.1	15.7
(渦) 渦鞭毛藻綱	10	0.5	0.4
(褐) 褐色鞭毛藻綱	840	38.9	17.6
(み) みどり虫藻綱	0	0.0	0.0
(緑) 緑藻綱	77	3.6	60.4
(他) その他のプランクトン	0	0.0	0.0
総細胞数	2160	総体積 (μm^3)	1.85E+06
種類数	14		

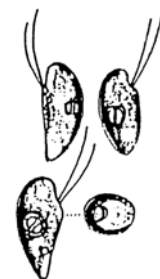
- 注1) 細胞数の単位は(細胞/ml)
ただし * 印の種は群体数(群体/ml)
- 注2) 優占種は◎が第1優占種、○が第2優占種
数字は各綱ごとの占有率(単位:%)
- 注3) 細胞体積は、顕微鏡観察による画像から
試験的に推定した概算値である。

植物プランクトン優占種

第 1 優 占 種		細胞数 (細胞数/ml)
褐色鞭毛藻綱	<i>Rhodomonas</i> sp.	720

第 2 優 占 種		細胞数 (細胞数/ml)
珪藻綱	<i>Asterionella formosa</i>	560

植物プランクトン第1優占種



Rhodomonas sp.
(ロドモナス)
褐色鞭毛藻綱

細胞は、長楕円形で長さが約10 μm と
小型であり、葉緑体は少し赤みを帯びて
いる。
2本の鞭毛を有する。

植物プランクトン第2優占種



Asterionella formosa
(ホシガタケイソウ)
珪藻綱

4~32個の細胞が端で接着し、ホシガタ
の群体を作る。細胞の殻面を見ると(通常
は殻環面が見えている)両端が丸くなった
長い棒形をしている。琵琶湖では以前か
ら多く見られる種類である。